

# 第2次千葉県自殺対策推進計画の中間見直し概要（案）

資料1

## 計画の位置づけ

自殺対策基本法第13条第1項の規定による計画

## 計画期間等

H30(2018)年度～R9(2027)年度の10年間  
(国の自殺総合対策大綱の見直し(R4.10)を踏まえて、県計画の中間見直しを実施)

## 基本方針

### 基本認識

- 自殺はその多くが「社会的に追い込まれた末の死」
- 自殺の背景には「複数の原因」がある

### 基本方針

- 全体的な対策と個別支援を組み合わせる推進する
- 関係者の自殺対策への理解を進めて総合的に取り組む
- 地域の実情に応じた対策を効果的に進める

## 目標と現状

2026年までに計画策定時から自殺死亡率※を30%以上減少

| 計画策定時<br>(平成26年～28年平均) | 中間評価時<br>(令和2年～4年平均) | 目標<br>(令和6年～8年平均) |
|------------------------|----------------------|-------------------|
| 18.6                   | 16.6                 | 13.0              |

※自殺死亡率：人口10万人あたりの人口動態統計による自殺者数

## 主な課題

- 県全体の自殺死亡率は目標に届いておらず、全国と比較して自殺死亡率が高い地域が依然としてある。
- 若年層(子ども・若者)の死因の第1位が自殺  
令和4年の全国の児童生徒自殺数は、514名(過去最多)  
令和4年度の本県の児童生徒自殺数は、23名と高止まりが続いている。
- 新型コロナウイルス感染症発生後の女性の自殺死者の増加  
(本県の女性自殺死亡率:H30:9.7、R1:9.5、R2:12.4、R3:11.5、R4:11.1)

## 国の大綱で内容が修正された主な項目

- 子ども・若者の自殺対策の更なる推進
- 女性に対する支援強化
- 地域自殺対策の取組強化
- 総合的な自殺対策の更なる推進・強化  
(新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえた対策の推進、孤独・孤立対策等との連携ほか)

## 県計画見直しの方向性

- 若年層(子ども・若者)への自殺対策の更なる推進
- 女性への自殺対策の更なる推進
- 総合的な自殺対策の更なる推進  
(孤独・孤立対策との連携、ICTの効果的な活用ほか)

## 計画の推進体制

千葉県自殺対策連絡会議において、計画を点検・評価

## 自殺対策推進のための取組

※赤字は、新たに追加した主な取組

| 項 目                 |                     | 主 な 取 組                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|---------------------|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Ⅰ 自殺対策の推進体制の整備      | 1 地域レベルの自殺対策の推進     | ・千葉県自殺対策推進センターによる市町村支援<br>・市町村レベルでの自殺対策ネットワークづくり                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|                     | 2 統計資料を活用した自殺対策の推進  | ・国等から提供されるデータを活用して地域分析を踏まえた効果的な対策の実施                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|                     | 3 自殺対策に係る人材の養成      | ・自殺対策関係者に対する研修等の実施<br>・自殺対策に関わるスタッフの心のケア                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| Ⅱ 自殺の危機の段階に応じた対策    | 1 心の健康づくりなど一次予防の取組  | (1)悩みを抱えたときの相談先の周知<br>・若年層に向けた周知・啓発に、SNS・検索連動型広告※を活用<br>(2)心の健康づくりの推進<br>※検索連動型広告を活用することにより、インターネット上で自殺に関連したキーワードで検索を行った場合、相談窓口等の情報が表示される。<br>・質の高い十分な睡眠の確保の推進<br>・児童生徒の自殺予防教育の実施<br>・児童生徒の心と体調の変化の早期発見に向けた取組の推進(一人一台端末等の活用)<br>・地域との連携による子どもの居場所づくり等への支援<br>(3)自殺の手段に対するアクセス制限等<br>・医薬品等に係る法令遵守の周知及び監視指導の強化<br>・インターネット上の自殺関連情報対策の推進 |
|                     | 2 自殺の危機に対応する二次予防の取組 | (1)総合的な相談窓口等の設置<br>・行政・教育・民間が連携して総合的な相談窓口(電話相談、若年層向けSNS相談など)を設置<br>・性犯罪被害相談電話(＃8103)の実施<br>(2)自殺未遂者の再発の自殺企図を防ぐ<br>・救急医療機関に搬送された自殺未遂者への支援<br>・医療と地域の連携推進による包括的な未遂者支援                                                                                                                                                                   |
|                     | 3 遺された人への支援         | ・自死遺族のための各種相談窓口における支援<br>・自死遺族が悲しみなどを共に分かち合える場の提供                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                     | 1 身体の問題に対する取組       | ・がん患者、難病患者への相談支援<br>・健康相談                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|                     | 2 精神の問題に対する取組       | ・精神保健福祉相談、かかりつけ医への研修<br>・精神疾患への理解促進                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                     | 3 経済・社会・就労問題に対する取組  | ・生活困窮者、ひきこもり、多重債務者、失業者への支援<br>・多様なケースに応じた女性の一時保護<br>・女性自立支援施設の効果的な活用<br>・困難な問題を抱える若年女性へのアウトリーチ、居場所提供<br>・県営住宅管理事業、住宅セーフティネットにおける支援<br>(DV被害者や母子・父子世帯等に対する優遇措置)<br>・高校生、高校中途退学者、進路未決定卒業者、若年無業者、女性、就職氷河期世代への就労支援                                                                                                                        |
|                     | 4 家庭問題に対する取組        | ・介護の悩み相談<br>・児童虐待への適切な対応<br>・ひとり親家庭に対する相談<br>・妊産婦への支援<br>・困難な問題を抱える女性への支援(相談事業、自立を支援する講座、職務関係者等研修ほか)<br>・ヤングケアラーへの支援                                                                                                                                                                                                                  |
|                     | 5 勤務問題に対する取組        | ・職場におけるメンタルヘルス対策の推進<br>・長時間労働の是正<br>・ハラスメント対策                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| Ⅲ 自殺対策の一翼を担う関連施策の推進 | 6 学校問題に対する取組        | ・学校における心の健康づくり推進体制の整備(スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置ほか)<br>・いじめを苦にした子どもの自殺予防(公立学校管理職向けの研修ほか)<br>・子どもの人権擁護<br>・不登校の子どもへの支援<br>・スマートフォン、インターネット被害防止対策の推進                                                                                                                                                                                   |
|                     | 7 その他の問題に対する取組      | ・心のバリアフリーの推進<br>・性的マイノリティへの支援<br>・交通事故被害者、犯罪被害者への支援                                                                                                                                                                                                                                                                                   |